

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0176000081		
法人名	クリーンハウス 株式会社		
事業所名	グループホーム たんぽぽ新館		
所在地	三笠市高美町444番地 (電話) 01267-2-7740		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年6月25日	評価確定日	平成19年7月24日

【情報提供票より】 (19年5月1日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年7月29日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤7人, 非常勤4人,	常勤換算6.65人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建 造り	
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000円	その他の経費(月額)	14,000円
敷金	(有) (64000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900円

### (4) 利用者の概要 (6月25日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	4名
要介護1	1	要介護2	4		
要介護3	2	要介護4	2		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 82.8歳	最低	75歳	最高	90歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立三笠総合病院	中塚歯科
---------	----------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

たんぽぽ新館は、自然豊かな環境に立地した開設2年目のホームである。施設内は広く開放感があり、各居室の中心部に位置する居間には、家庭的な調度品や生け花が飾られており、落ち着いた居心地の良い空間になっている。管理者及び職員は良質のケアサービスの提供に熱心に取り組んでおり、利用者一人ひとりのケアプランが日常ケア場面の実践に結びつくようアセスメント、モニタリング、書類等の工夫を重ね、利用者の個別性を重視したより質の高い介護サービスの提供に努めている。また年間行事のほか、日常的な外出の機会作りを柔軟かつ積極的に行ない、利用者がホームに閉じこもることなく、地域の中で楽しく過ごせる暮らしの提供に取り組んでいるホームである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では地域との関わり、職員のストレス対応が主な改善課題としてあげられましたが、地域との交流としては子供会との提携に取り組み、また管理者を中心に丁寧なコミュニケーションを図ることで職員のストレスの軽減に努めています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者及び職員は評価の意義を理解しており、自らの評価について職員会議で話し合い、気づきや改善点の検討を行ない、職員間での共有が図られています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は地域、家族、利用者の代表の参加を得て、3回開催されています。開催間もないこともあり、活発な意見交換までには至っており、今後、推進会議のメンバー一人ひとりが地域密着型グループホームの機能と役割に対する理解を深めてもらえる働きかけ、テーマ設定を期待します。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>写真を掲載した通信を作成し、行事などの報告や金銭管理報告、健康状態、担当職員のコメントなどが記入された生活状況報告など、ホームからの情報発信をきめ細かく行なっています。また、家族への対応は全職員ができるよう利用者一人ひとりの状況を把握し、気軽に話せる雰囲気作り、関係作りを努めており、表出された意見等への対処も速やかに取り組んでいます。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、地域の行事などに参加しています。ホーム内での華道教室の開催などボランティアの受け入れ、地域の子供会と連携した行事を予定しており、地域住民との交流に取り組んでいます。今後さらに、地域との良好な関係が発展していくよう期待します。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は、職員間で話し合いのうえ、作成されており、その実現に向けて日々取り組んでいる。地域との係わりを大切に考えたケアサービスの提供に努めてはいるが、改めて理念の中には盛り込んではいない。	○	地域密着型サービスの本質を理解し、すでに取り組み始めてはいるが、運営の拠り所となるホームの理念の中にその考えを改めて盛り込み、より地域住民との交流を重視したサービスの提供を期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には、理念の理解を深める取り組みが行なわれている。また、管理者は職員会議やミーティングにおいて、理念を意識しながら、日常のケア場面に繋げて話されており、職員間での共有が図られている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、その行事に参加することもある。ホーム内では華道の先生による教室を開催し、近隣住民と一緒にお花を活けている。また、地域の子供会と連携し、この夏には敷地内でミニ縁日を開催する予定になっており、地域の人達との交流促進に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、評価の意義を理解しており、自らの評価については職員会議で話し合い、気づきや改善点について検討を行ない、より質の高いケアサービスの提供を目指している。		

三笠市 グループホームたんぽぽ新館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域、家族、利用者の代表者の出席で、3回の運営推進会議を開催し、施設の概要などの説明を行なっている。	○	会議では、まだ活発な意見交換にまでは至っていないことから、委員に対してグループホームの機能と役割などの丁寧な説明を重ね、より理解を深めてもらう取り組みを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの隣接地に市の分室があることから、担当者とは、良好な関係を築いている。市が主催する介護関係の講習会の講師として、施設長が依頼されて行なったこともある。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、写真を掲載した通信を作成し、ホームの行事などの報告を実施している。月1回の金銭管理報告時には、利用者への個別対応として、本人の健康状態や担当からのコメントが記載された生活状況の報告もされており、きめ細かな取り組みを行なっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの問いかけには、職員全員が対応できるように利用者一人ひとりの状態の把握に努めている。そのうえで訪問時には職員から声掛けし、家族の意向が表出し易い雰囲気作りや意見を運営に反映させる体制を作っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動、離職は多くはないが、交代の時には、担当からの引き継ぎのほか、利用者の様子を見守りながら、できるだけマイナスの影響を少なくする対応の努力が行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員はそれぞれの段階に応じた外部の研修会に参加している。研修報告書はホーム内で回覧、共有しているが、内部研修の機会として、来月に予定している研修会の開催に向けて取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一敷地内のほかのホームとは、相互交流が行なわれている。昨年南空知GH協議会が発足、施設長が参加し、情報交換を行なっている。	○	今後は管理者及び職員が、ほかの事業所との学習会や交流の機会を持ち、日常のケアサービスに活かす取り組みを望みたい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居待機者にはホーム内の見学も行なわれているが、その後の関わりが十分ではなく、利用者欠員時には、急遽入居された方もいる。	○	待機者の入居時期についての判断は難しい面もあるが、日頃からホームの行事などの際には呼び掛けし、気軽にホームに遊びにきてもらえる関係作りを期待したい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩という認識を持ち、家族ではないがともに過ごす者としての相互の信頼関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の暮らしの中での会話や言葉掛け、また、表情からその思いを汲み取り、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。利用者のそのままの言葉を見逃さず、本人本位の介護サービスに活かしている。		
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意向を把握し、24時間アセスメントシートや生活状況記録をもとに職員間で話し合い、個別の介護計画の作成に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の利用者の状況について、介護計画に添った支援経過記録に記入、一人ひとりに応じた評価を実施し、3ヶ月又は随時、介護計画の見直しを行なっている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者本人、家族の状況や要望に応じて病院受診時の送迎などの支援を行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院での受診のほか、訪問診療を行ってくれる医院とも良好な関係を築いており、一人ひとりのニーズに合わせた医療支援を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や医師と十分な話し合いを重ね、利用者の看取りを行なっている。終末期のホームにおける対応の指針を作成し、本人や家族への説明、話し合いが行なわれている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の名前も本人が希望する呼び方で呼ぶなど、親しみをこめた呼び方にしているがプライドやプライバシーを大切にされた対応に心掛けている。また、記録等の取り扱いの徹底を促している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームのスケジュールはあるものの、できるだけ本人のペースに添うケアについて会議等で話し合い、利用者本位のケアの実践に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は味付けや調理補助など、それぞれの力量に応じた手伝いを行なっている。職員の食事支援はさりげなく、利用者とともに楽しい食事ができるよう配慮している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴が可能である。午後入浴が殆んどであるが、入浴拒否の人や個々の状況などを把握し、入浴のタイミング、言葉掛けの工夫を行ない、利用者の希望に沿う支援に取り組んでいる。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	開設当初は利用者を大切にするという所でのやや過剰な介護傾向もあったが、現在はできる範囲でそれぞれに役割や楽しみごとがあり、山菜取りや魚さばきなど得意なことを引き出すなど、支援を行なっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お花見や温泉などの年間行事が計画、実施されている。また、日々の買物のほか、ピクニックや裏庭での焼肉会など当日の状況により提案され、利用者が外に出て楽しめる機会の提供に柔軟かつ積極的に取り組んでいる。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出傾向の利用者もいるが、職員の目視による見守り、支援を第一と捉え、日中帯は施錠していない。		

三笠市 グループホームたんぽぽ新館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時における連絡、対応マニュアルが整備されている。また、災害時対策として年2回の避難訓練を計画し、4月にホーム内で実施している。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の1日の食事量、水分摂取量の把握がされており、栄養バランスに配慮した献立を作成している。	○	新鮮な食材を使用し、栄養バランスの良いメニュー作りに気配りされているが、利用者の中には病院に受診されていない方もおり、今後の体調変化も考えて、1日の大まかなカロリー摂取量の把握を期待したい。
<b>hs</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースはゆったりとしており、利用者の身体状況に配慮した工夫がなされている。各居室の中心にある居間や台所には、家庭的な調度類や生け花が飾られてあり、生活感や季節感を大切にしたい居心地良い空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはタンスやお仏壇など、馴染みの物や希望の品が持ち込まれており、安心して過ごせる居場所になっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。